

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

## 広げよう「啓発キャラバン隊」

東京(オンライン併用)で研修会

9月3日

合理的配慮の義務化で、求められています啓発隊

9月3日に東京を会場として、7回目の啓発キャラバン隊研修会が行われました。北海道からも、会場やオンラインで参加。

研修会の様子と、参加した感想とともに、道内の啓発隊の活動を紹介しましょう。

令和6年9月3日(火)、東京都にて令和6年度啓発キャラバン隊研修会が開催され、「改正障害者差別解消法と啓発キャラバン隊活動」というテーマで全育連又村事務局長による基調講演があり、その後キャラバン隊「空」による実演、鳥取県障がい福祉課の方による「あいサポート運動」の紹介、午後からは「教えて！民間事業所への啓発ノウハウ」というテーマでのシンポジウム、グループディスカッションと盛りだくさんの内容でした。会場参加が42名、オ



ンライン参加が57端末と関心の高さが伺え、「全国で広まりつつある」との又村事務局長の言葉が実感できる1日でした。

(札幌市手をつなぐ育成会  
事務局長 深宮しのぶ)

元気をもらえる研修会に参加して

室蘭市育成会「ピリカびりか」

代表 鈴木 大輔  
年に1度しか開催されない「啓発キャラバン隊研修会」にオンラインで参加しました。

又村あおいさんより、なぜ啓発キャラバン隊が必要なのか？を改正障害者差別解消法に照らし合わせながら、講演をスタートし、啓発活動を広めるための企業へのアプローチの方法、各地区での取組などとても参考になるお話を聞かせていただきました。なによりこの研修で1番得られるものは「元気」です。皆さんとにかく明るい。それぞれに課題や悩みはあるけど、前向きにひたむきに、ひとりでも多くの方に障がいについて「楽しく」知ってもらおう！と活動している話を聞いていると、自然と元気が湧いてきます。

う！と活動している話を聞いていると、自然と元気が湧いてきます。



室蘭では、市や社会福祉協議会主催の研修会や専門学校での啓発活動を行ってきました。多くは無いですが、それでも「歩みを止めず進んで行こう！」と、元気をもらえたとても貴重な研修会でした。いつか矢野さんと肩を組み、ピースをして写真を撮るのが私の夢です。

「障がいへの理解深まった」

代表 山田 由紀  
遠軽町育成会「Teamかたつむり」  
高校生に公演を実施

令和5年9月に遠軽町内の中学校の先生から教員に對しての活動依頼があり、放課後の校舎で校長先生を筆頭に10名の先生に對して活動をさせていただき、11月には高校生のポ



(2面に続く)

ランテニア部全道大会が町内で開催され、普段は障がい者と接する事が少ない高校生及び顧問の先生約30名に活動する機会を与えていただきました。

活動後のアンケートを見させてもらうと、障がいへの理解が深まり、今後の接し方など勉強になったなど、心温まる言葉を参加者全員からいただく事ができ、私たちも、やりがい強く感じる事ができました。今後も、一人でも多くの人に障がいを理解して頂けるよう活動を続けていきたいと思えます。

### 札幌市新任職員に4年ぶりの公演

札幌市育成会「Team i」

広報 深宮 しのぶ

8月23日(金)札幌市各区役所の保健福祉課に配属される新任職員さん向けに公演。新型コロナウイルス流行前は毎年呼ばれていて、流石は対面での開催が叶わなかったのですが、今年度に入り久々に打診があり、喜び勇んで馳せ参じました。

皆さん少しはにかんだ感じはありましたが、「軍手はめたら手を挙げて下さい！」や「お花を頭に乘せてください！」という無茶振りにも応じてくださり、終始和やかな雰囲気の中、終えることができました。今日の公演が、これからの業務の一助になれば……と思っています。



### 第18回本人の会 全道交流会

## ひろげようみんなのわ

in小樽

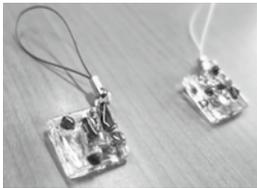
楽しいプログラムが盛りだくさん

10月20日(日)、小樽で開催される「ひろげようみんなのわin小樽」の準備を、「小樽友達の輪の会」と「倶知安かがやきの会」のみなさんと支援者、小樽育成会事務局で進めています。

8月28日(水)に小樽友達の輪の会6名、倶知安かがやきの会11名と各会の支援者12名が加わり、総勢29名が集まりました。まず、当日の昼食に予定されている海鮮丼を食べ、8名が「ゆず工房」さんに行き、「ガラス製作体験」を、開催場所の「いなぎたコミュニティセンター」へは「つくし牧田」さんに来ていただき、9名が和菓子づくり体験をして、注意点や製作する難しさを確認しました。

昨年8月に行われた全道大会本人大会では、大変暑く、冷房のない体育館での全体会となり、皆様に辛い思いをさせてしまいました。が、今回はちよつと良い会場の温度になるかと思えます。

特別企画「全道の仲間と音



でつながろう！」好きな音大募集！のご案内もお手元に届いていると思います。小樽の「潮音頭」と合わせて全道の皆様と一緒に盛り上がりたいたいと考えています。他にも楽しい時間を過ごしていただけるように、小樽と倶知安の本人会と一緒に準備をしております。当日多くの皆様とお会いするのを楽しみにしております。

(ひろげようみんなのわin小樽事務局 百合野 潔)

「皆さん、小樽でお待ちしています！」

小樽友達の輪の会 会長 金子 和幸



小樽友達の輪の会の会長で、「ひろげようみんなのわin小樽」の実行委員長を務める金子和幸です。午前はガラス体験か、和菓子づくり体験をしていただき、昼食には小樽のお寿司屋さんの海鮮丼を用意しています。他にも小樽、倶知安が合わせた実行委員みなで準備を進めています。これから潮音頭の練習をし、皆さんと一緒に踊るのを楽しみにしています。

たくさん参加を心からお待ちしています！

# 特別研修会

主催：一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会  
共催：NPO法人 帯広市手をつなぐ育成会  
北海道知的障害児者生活サポート協会

## 地域の一員として共に暮らす ～人権・地域・普通の暮らし～

講師：小林 繁市 氏 (NPO 法人伊達市手をつなぐ育成会会長)

人口3万人余りの伊達市。町（まち）で暮らす知的障がい者は400名を超えます。それぞれが家に住み、仕事を持ち、地域に溶け込んで暮らしており、結婚し、家庭を持っている人もいます。どうしてそれができたのか。本人たちの精いっぱい頑張り、サポートする家族や支援者などの努力、そして最も大きな理由は、市民の方々が障がいのある人たちとの付き合い方が上手になったからだと思います。たくさんの障がいのある人たちが、町の職場で働き、買い物に出かけ、町の中で暮らすことで、お互いに理解が深まっていったのだと思います。

こうした伊達市の地域づくりから、生活、仕事、余暇、結婚などの支援の実際について、また知的障がいのある息子の父親としての立場から家庭支援についてもお話しします。



日時：令和6年11月2日（土）13:30～15:00（13:00開場）

会場：帯広市グリーンプラザ 集会室A・B（帯広市公園東町3丁目9番地1）

※オンライン（ZOOM）での視聴もできます。

### 《小林 繁市 氏 略歴》

- ・昭和44年 北海道社会福祉事業団「北海道立太陽の園」に児童指導員として奉職  
生活指導員、ソーシャルワーカー等を歴任
- ・授産施設希望ヶ丘学園園長、更生施設第一青葉学園園長、だて地域生活支援センター所長、  
北海道社会福祉事業団太陽の園総合施設長などを歴任
- ・令和3年より 伊達市手をつなぐ育成会会長
- ・北海道知的障がい福祉協会理事

お問い合わせ先：帯広市手をつなぐ育成会 (TEL 0155-34-0553 / FAX 0155-66-9391)

北海道手をつなぐ育成会 (TEL 011-251-0855 / FAX 011-251-0804)

参加申込：チラシ裏面の参加申込書をご覧ください

# 一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会『特別研修会』

日時：令和6年11月 2日（土） 13：30～15：00

## FAX 011-251-0804

※記載していただいた個人情報は、特別研修会以外で使用することはありません。

お名前	
-----	--

連絡先(携帯)	
---------	--

所 属 (いずれかに✓)	<input type="checkbox"/> 育成会・親の会 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 事業所・施設・福祉関係 <input type="checkbox"/> 教育関係 <input type="checkbox"/> その他
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加方法 (どちらかに○)	会 場 ・ オンライン (ZOOM)
------------------	--------------------

メールアドレス ※オンライン (ZOOM) 参加者の方は 必ず記入	迷惑メール設定をしている方は、doikusei@air.ocn.ne.jp からのメールを受信できるようにしてください。
-----------------------------------------	--------------------------------------------------------------

住 所 ※オンライン (ZOOM) 参加者で資料 郵送希望の方のみ記入	
-------------------------------------------	--

☆定員：会場180名・オンライン (ZOOM) 参加80名のため、先着順に受付いたします。

☆QRコードでの申し込みもできます⇒⇒⇒



締切：令和6年10月18日（金）

## 私たち育成会、ただ今、奮闘中!

### 地区育成会の活動紹介

その11

#### 八雲町手をつなぐ育成会

1年遅れの創立45周年記念一泊研修旅行

### 熊石の歴史に触れ、温泉を堪能

八雲町手をつなぐ育成会創立45周年記念行事として、北海道共同募金・自立支援「たのしくくらす」研修事業の助成を受けて、宿泊研修事業を実施しました。

八雲町は、平成17年に旧八雲町と旧熊石町が合併し、日本海と太平洋の二つの海に面した日本唯一のまちとして誕生しました。来年合併20年の節目となることから、熊石歴史記念館を見学し、温泉旅館おぼこ荘に宿泊しました。

松前藩時代の元禄6年、熊石番所が設置された幕藩体制下の日本の最北の領地であり、ニシンの千石場所として繁栄し、松前藩の経済的基盤を支える重要な拠点であった熊石の歴史や様子を模型と展示物を見ながら学ぶことができました。特に熊石出身の方が寄贈した「昔のおもちゃ展示」には、みんな懐かしくて、「これで子供の時遊んだよね」「これ家にあつた」と目を丸くして見えていました。

すっかり歴史を堪能した後、雄大な雄鉾岳のふもとで、ひょうたん形の露天風呂があるおぼこ荘に向かいました。ここは、自然豊かな秘湯とし



て有名であり、大露天風呂や大浴場の岩風呂で、それぞれ異なる泉質が楽しめる温泉宿です。早速みんなで入浴。静寂の中、川のせせらぎ、満天の星空の露天風呂に入り、誰もが大満足。お風呂を満喫した後は、今夜のメイン。地物の新鮮な海の幸と山の幸(青つぶ、鮭、三五八漬、牡丹海老、活あわび、帆立貝、とうもろこし、十勝彩美牛

他)のいろいろ料理と名古屋コーチン鍋など食べきれないほどの豪華料理を美味しく頂きました。会員からは、「盆と正月が一度にきた」「こんな料理は初めてだ」「また来年もここに来たいな」との声が上がりました。次の日は、朝風呂に入りさっぱりして、さあ朝食。「朝飯も良かー」「朝から会席料理だ」と最後まで満足な様子。それぞれ売店でお土産を買って小遣いも使い果たしました。

今回は、宿泊旅行ということもあり14名の参加でしたが、次の行事の日帰り買い物ツアー(10月5日・イオン上磯店)には、全員参加で行くことを誓い合いながら帰路に着きました。

(八雲町手をつなぐ育成会 会長 千葉 隆)



### 能登半島地震義援金 追加募集のお願い

本年1月1日に発生し、甚大な被害をもたらした能登半島地震への義援金を4月いっぱいまでの取り組みとしてお願いし、全道で

442,050円を募金いただきました。全国では25,566,026円となり、第1期分として、石川・富山・新潟の三県に総額28,347,539円を配分しました(不十分は全育連災害等支援基金から補填)。

しかし、被害が甚大であり、復旧・復興がなかなか進んでいない現状です。また、第1期の被災地への配分額は、目指していた85,930,000円には大きく届いておりません。

報道でも伝えられていますように、石川県を中心として、復旧作業に時間がかかっており、地域住民は大きな困難を抱えながら生活しています。そのため、全育連では9月いっぱいまでを第2期、さらに第3期の義援金の募集を継続して取り組むこととしました。

つきましては、道育成会としても義援金の募集を引き続き行いますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

義援金は次の口座にお振込み下さい。なお、振込手数料につきましてはご負担をお願いいたします。

#### 【道育成会取りまとめ口座】

店名 北洋銀行 道庁支店(475)  
口座番号(普通) 31833166  
口座名義 一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

### 10月の予定

12日(土)・13日(日) 全育連全国大会秋田大会  
20日(日) ひろげよつみんなのわん小樽

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
**あんしん保険**  
少額短期健康組合保険(特約付) 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようにお困り事に心当たりがある方に…

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
**こども傷害保険**  
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

**ぜんち共済株式会社**  
関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。  
[2020年1月作成 19-T06633]

**0120-322-150**  
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

**有限会社オフィスブレイン**  
〒060-0032  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。  
※2023年11月時点

**AIG損保の普通傷害保険**  
**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約特約

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー 北海道支店**  
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2F  
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**札幌支店**  
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F  
TEL: 011-204-7510  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**北海道知的障害児者生活サポート協会**  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内  
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会  
事業所協議会**

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7(4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: [doikusei@air.ocn.ne.jp](mailto:doikusei@air.ocn.ne.jp)

★会員事業所紹介★

**特定非営利活動法人 伊達市手をつなぐ育成会**  
**ワークセンターえるむ(多機能型サービス事業所)**

〒052-0023 伊達市元町54番地1  
電話 (0142)23-7355 FAX (0142)25-6391  
E-mail: [datesi-tewotunagu@tulip.ocn.ne.jp](mailto:datesi-tewotunagu@tulip.ocn.ne.jp)

☆生活介護…20名  
☆就労継続支援B型…40名  
計60名定員

★主な作業

- ☆洗濯物捌き
- ☆手芸品の制作・販売
- ☆クッキー製造・販売
- ☆施設外就労  
(社会福祉施設4カ所・企業1カ所)